

看板の履歴書



写真1

4月末から公開を開始した市指定文化財旧長野商店の正面に、写真から復元した8枚の看板が掛けられています。今回はその中から「札幌葡萄酒武蘭地販売所」の看板(写真1)を紹介しましょう。

復元には、まず古い写真から看板の文字を読み取らなければなりませんでした。写真2の「札幌」の下、右側3文字は「葡萄酒」のことだと分かりましたが、左側の3文字は、「武■地」のようにしか見えません。しかし、葡萄酒と系の洋酒類ではないかと推理して、難読漢字の辞典を調べてみました。するとウイスキーは「威司開」、ブランデーは「武蘭地」とありましたので、武蘭地(ブランデー)のことだと判明しました。



写真2

次は、看板の上にあるマークです。「札幌葡萄酒」を調べると、明治36年の「札幌区実業家案内双六」に「札幌谷葡萄酒醸造場」が載っていました(写真3)。これはカラーでしたのでマークの色も分かりました。こうした資料をもとに復元したのが写真1の看板です。

札幌葡萄酒醸造所は、明治9年に麦酒醸造所と同時に北海道開拓使によって設置された官営工場でした。明治20年に民間に払い下げられ、明治24年からは、札幌の谷七太郎が、経営していました(大正2年まで)。

(工藤義衛)



写真4



写真3